

# 令和5年度 せたがや学生 ボランティアフォーラム

開催日時： 2023年12月16日（土）  
14時～16時30分

会 場： 成城ホール（世田谷区成城6-2-1）

世田谷区内の大学やボランティア団体、区などの間でボランティア活動に関する情報交換や交流を行っている「せたがや学生ボランティアネットワーク」。

その取組のひとつとして、学生と区の連携・協力による“まちづくり”の促進や、大学生によるボランティア活動に対する区民の理解・関心を深めることを目的とし、ボランティアフォーラムを開催しました！

各学生団体の活動発表のほか、ボランティア活動に関する意見を交換するパネルディスカッション、市民活動団体の方との対談、直接お話しができるポスターセッションを行いました。

普段はオンラインでの交流が多かったため、他団体のメンバーと会って交流できる良い機会となっただけでなく、地域の方とも直接お話しできる貴重な経験となりました。

参加する学生団体や地域の方も昨年度より増え、楽しく有意義なフォーラムとなりました！特に休憩時間に実施したポスターセッションは時間が足りないと感じるほど盛り上がり、学生と区民の相互理解が深まりました。

今回のフォーラムを、今後の活動に活かせればと思います！

作成：昭和女子大学ENVO 八反田



# 参加した 学生団体 の紹介

今回のフォーラムには、  
11の学生団体が  
参加しました！！  
活動内容と、参加した  
感想はこちら→

## 国士舘大学 児童教育研究会



国士舘大学児童教育研究会は地域の小学生を対象に学生がイベントを企画しイベントを開いて一緒に遊ぶ活動をしております。

学生ボランティアフォーラムを通して他の大学の活動を知ることが出来て大変有意義な時間だったと思います。また児童教育研究会の活動も多くの方に知ってもらえる貴重なお時間をいただいた事に感謝しております。

これからも世田谷のボランティア活動をする集まりとして意識を持って活動していきたいです。

## 駒沢大学ボランティアサークル



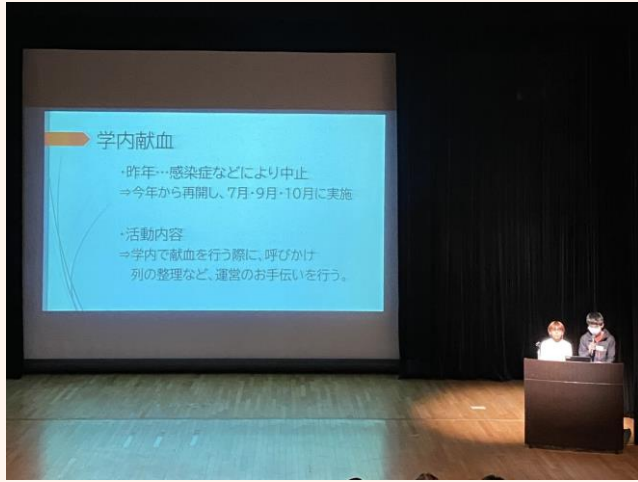
駒沢大学ボランティアサークルは地域のイベントやお祭りのお手伝い、子どもたちと公園で全力で遊ぶ、障がい者の皆様に関するお手伝いやその他の募集がある所の単発ボランティアなどを中心に活動しております。

学生ボランティアフォーラムに関して、全体発表では私達のサークル活動を多くの方に知ってもらえる貴重な機会をいただいたことに感謝したいです。また他大学さんから学びの多い斬新な活動や自分が今まで知らなかった活動に関して知る事が出来ました。

対談では地域の皆さんと出会い、意見交換をする事によってお互いの理解を深め合えたのではないかと思います。

ボランティアに関する意識に磨きがかかるようなとても有意義な場でした。

## 駒澤大学学生赤十字奉仕団



駒澤大学学生赤十字奉仕団は献血推進活動をはじめとした幅広い活動を行うボランティア団体です。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために中断していた学内献血や対面での交流活動の再開に注力しながら、コロナ禍でも行っていた献血協力の呼びかけなどの活動をより活発化してきました。

今年度のせたがや学生ボランティアフォーラムは他団体の活動発表からボランティア団体の多様性を感じるとともに、自分の団体にも活かせる考え方や運営方法などを吸収するととても貴重な場だったと感じています。また、普段お話しする機会の少ない地域のボランティア団体の方々ともご挨拶ができ、参加した団員にはとても良い刺激になりました。

## 昭和女子大学ENVO



昭和女子大学ENVOは、“ENjoy Volunteer”に由来し、学生による学生のためのボランティアコーディネーター（学生とボランティアの架け橋）として活動しています。現在は宮城県女川町への被災地支援を中心に、「オリーブ・ルーム」での学習支援や、青鳥特別支援学校さんの「ブルーボードカフェ」への協力をしています。今後は女川町ワークキャンプで学んだことを、世田谷地域の人々に伝える活動を検討しています。

今回のせたがや学生ボランティアフォーラムでは、他の学生団体や市民活動団体さんと交流することで、今後の活動に活かせる繋がりを得ることができました。また、直接顔を合わせて会話をすることで、ボランティアに対する気持ちや熱意を感じられただけでなく、有意義で楽しい時間を過ごすことができました。せたがや学生ボランティアネットワークに所属することで新しい活動にもチャレンジできたので、今回参加してくださった他団体さんとの御縁を大切に、ボランティア活動を続けていければと思います。

## 昭和女子大学ボランティア委員会



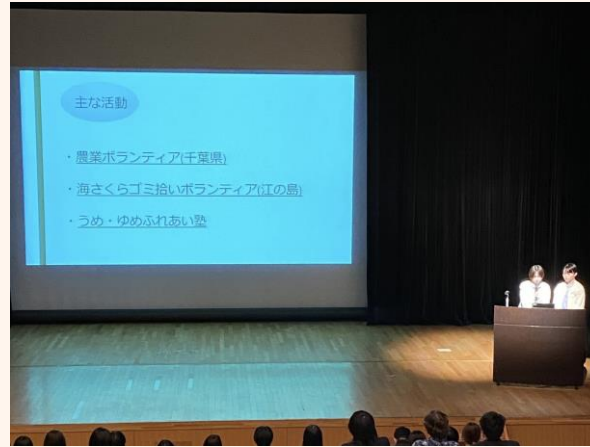
昭和女子大学ボランティア委員会は、今年度から学内の活動に加え地域と関わる活動にも力を入れています。今年度は新しく、三軒茶屋地域の清掃活動を開始しました。また、大学の長期休みを利用して援農ボランティアや海岸清掃活動にも取り組んでいます。今後はさらに地域の方々と関わりを持ち、地域に必要とされるボランティア団体になりたいという思いで、活動を続けていきます。

今年度のせたがや学生ボランティアフォーラムでは、世田谷区のボランティア団体が一堂に会し情報共有や意見交換ができ、今後の活動を改善していきけるような貴重な機会だったと感じます。特に、大学生団体と、地域の方たちが運営する市民活動団体同士の白熱した議論が印象に残っています。良いことだけでなく、ボランティア活動に関する現状の課題についても共有することができ、自分たちのこれからの活動を考え直す機会になりました。来年度のボランティアフォーラムに向けて、より良いボランティア団体にしていきたいと思えるような、有意義なフォーラムだったと感じています。

## 日本大学文理学部国際ボランティア グループ Salamat "A"



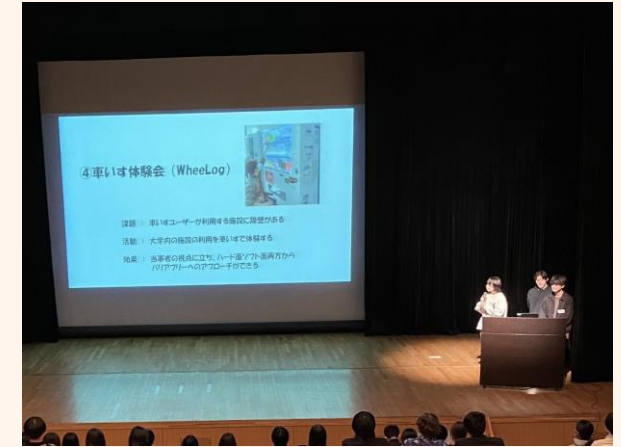
## 明治大学 きずなInternational



2022年8月に梅ヶ丘駅近くの北沢ボランティアビューローにて、小学生対象の学習支援・子ども食堂企画「うめ・ゆめふれあい塾」を立ち上げました。原則第三土曜日に開催し、10名程度の子どもたちとお勉強やレクリエーション、昨年11月からは食事を共にしております。本企画は、NPO法人子育てねっとSukuSuku様との共催となっており、梅丘商店街の皆様にもご協力いただいております。

ポスターセッションを通して、地域の皆様と直接お話をさせていただくことでボランティア活動への自身の視野を広めることができ、大変有意義な時間となりました。このような場での貴重な出会いを生かし、サークルとして地域の活動により密接に関わっていければと思います。

## 明治大学 心身障害者福祉会しいの実



障害を持った方の支援をする活動や、電動車いすサッカーチームのサポート、小学生の子どもたちと放課後に遊ぶ活動、中学生に勉強を教える活動など、障害者福祉・児童福祉のボランティア活動を複数行っています。

この度は、地域の方々、他大学のボランティアサークルのみなさまとの交流の機会を設けてくださってありがとうございました。僕たちが行っている活動以外にも様々なボランティア活動があることを知ることができました。また、それぞれの団体が社会に貢献しようと独自の企画を考案し、努力して実現させているという話を聞いたのは、僕たちの刺激にもなりました。このフォーラムで得られた知見を活かして、来年度はより活動内容を広げていきたいと思っております。

しいの実は今年度で創設50周年を迎え、これまで培ってきた福祉におけるボランティア経験を活かして、これからの50年を見据え、地域に根ざした活動を行いつつ、そこから社会へ働きかけることのできるよう志高く活動に取り組んでいきたいと考えています。

## 明治大学 のえる

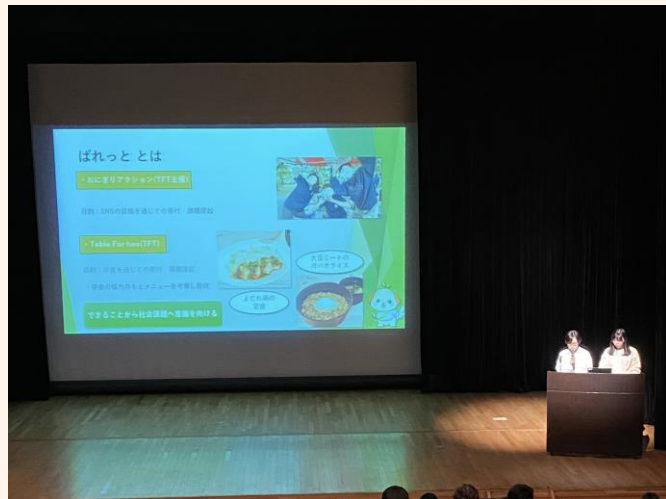


明治大学「のえる」です！クリスマスイブに子どもたちにプレゼントを届ける

「チャリティーサンタ」を軸に、「竹とんぼ教室」や烏山児童館でのボランティアなど、子どもと教育に関わるボランティアに特化して活動しています。

今年度から活動を始めた団体なので、せたがや学生ボランティアフォーラムへの参加も初めてでした。様々な大学の方やボランティアを行っている団体の方との交流を通して、たくさんの考えや活動に出会うことができました。来年度以降もこのフォーラムを通して、地域の方々と私たち大学生とがもっと繋がることのできたらなと思います。関係者の皆様、当日ご参加くださった皆様、ありがとうございました！

## 明治大学 ぱれっと



環境問題への取組を軸に、児童支援や国際支援など幅広く活動しています。

普段は大学周辺でごみ拾いを実施し、街の美化に取り組んでいます。また、大学構内で回収したエコキャップを業者の方に引き渡し、得た利益の一部を開発途上国の子どもたち向けワクチンの費用として寄付したり、大学の食堂にご協力いただきオリジナルメニューを考案、その売り上げの一部を開発途上国に寄付したりなども行っています。その他、児童館のお手伝いに取り組むなど活動はさまざまです。

フォーラムでは活動発表を通して、地域の皆様と交流させていただき、本当に嬉しい気持ちになりました。自分たちの力を地域に還元し、多くの方のお役に立てるよう頑張ります！

## テンブル大学 ボランティア活動団体



テンブル大学ボランティア活動団体は、今年度からこのボランティアネットワークに参加することになり、区内に住む外国人へのサポートなどのボランティアを始めたいと考えています。ボランティア活動への取組では、三軒茶屋のごきんじょ市で、余った材木を利用して区内在住の宮大工の方によって作られた積み木を、参加した主に子どもたちが組み立て、私たちがそれぞれの高さを測って記録するというボランティアをしました。これからの活動において、様々な言語を話せて、協力してくれる学生が増えれば、活動の幅が広がると思います。フォーラムでは、他の団体のユニークな活動内容や、部員をまとめることの難しさとそれに対処する方法を知ることができて参考になりました。

## パネルディスカッション

学生団体の代表者が、「①ボランティア活動で学んだこと」と「②活動している中でもやもやしていること」をテーマにディスカッションを行いました。

①ボランティア活動の中で学んだことについては、

- ・メンバーやボランティアに関わる方とのコミュニケーションの大切さを学んだ
  - ・リーダーシップや運営力が培われた
  - ・ダイバーシティ社会という意識の重要性や、普段気にしていない問題に気づかされた
- など、ボランティア経験を通して自身の成長や、新たな発見が得られたという意見が挙げられました。

②活動している中でもやもやしていることについては、

- ・参加してくれるメンバーを増やしたい、仲を深めたい
- ・活動先が固定化してしまっている
- ・メンバーの自主性や「やりたいこと」を実現するにはどうすればよいか

などの意見が挙げられ、特に「活動に参加してくれるメンバーを増やしたい」という悩みを抱えている団体が多いことが分かりました。そこで各団体で実施しているアイデアなどを共有しました。



## 市民活動団体の方との対談

参加して下さった市民活動団体の方

- ・野川をキレイにし隊 宇佐美さん
- ・よりそい自習室オリーブルーム 川上さん
- ・梅丘災害を学ぶ会 古屋さん

学生ボランティアの必要性や求めていることについて、市民活動団体の方にお話を伺いました。学生に期待することについては、「大人には出来ない子どもとの関わり方」や「多世代交流のきっかけづくりと次世代の育成」、「学生独自のコミュニティやネットワーク、SNS技術を活用すること」などの意見を頂きました。学生が感じている活動へのハードルの高さや、参加する際の不安についても聞いていただき、学生と市民活動団体の距離が縮まったように思います。今回の対談が、私たち学生側だけでなく市民活動団体の方にとっても有意義なものであったという声を頂き、直接お話しすることの重要性を実感しました。また、今回の対談で知ることのできた市民活動団体の方の気持ちを、他のメンバーやボランティアに興味を持っている学生にも伝えることが大切だと思います。

